

完全直接衛星放送

市吉 修
二十一世紀を楽しく生きよう会
STF 放送 LAN 事業研究会

[1] 既存の直接衛星放送(DSB)システムの問題

- (1) 一箇所から送信する方式であり、送信局は東京圏に一極集中しています。
- (2) 地方現場からの生中継は煩雑で費用がかかり、殆ど使われません。
 - (a) 現場 - SNG - 衛星 - DSB 送信局 - 衛星 - 利用者、 (衛星 2 往復)
 - (b) 現場 - 地上の長距離回線 - DSB 送信局 - 衛星 - 利用者、 (地上と衛星の併用)
- (3) 衛星放送は各国とも寡占状態にあり、マスメディアの集中とコンテンツの不足を来し、衛星放送および衛星通信そのものの発展の阻害要因ともなっています。

[2] 上の問題を解決できる完全直接衛星放送網とは

- (1) 全国どこからでも直接衛星に向けて発信可能(直接送信機能)。
- (2) 既存の衛星放送受信端末(CS 放送)で受信可能(直接受信機能)。

[3] 完全直接衛星放送網とその特長

- (1) 一個の衛星中継器(30Mbps / 27MHz)を複数(5 - 10 程度)の送信局で共用できます。
- (2) 送信局は全国どこにも容易に設置する事ができます。車載 SNG 装備も可能です。
- (3) 完全同期 TDMA 技術により衛星からの信号は既存のデジタル衛星放送と殆ど同じ形の信号になり従来の CS 放送受信設備で受信可能です。

[4] 新たな応用が可能

- (1) 送信局をどこにでも設置でき、しかも一挙に全国向け放送が可能です。
- (2) 衛星単一中継により直接全国の利用者に配信できるため送信通信費用が安価です。
- (3) 車載装置による現場からの生放送を衛星を通じて直接全国に放送する事も可能です。
- (4) 放送と同時に全国の地方放送局、CATV 局間で放送内容の相互交換が可能です。

[5] 市場性と社会的意義

- (1) 既存の直接衛星放送(DSB)端末で受信可能であるため急激な市場の立ち上がりが可能です。
- (2) 地方の放送局や CATV 業者が放送地域を一挙に全国に拡大できます。
- (3) 優良コンテンツの全国普及、学術の振興、地場産業の営業地域の拡大に役立ちます。
- (4) 首都圏への一極集中と地方の過疎高齢化という国民的課題の解決に有効です。
- (5) マスメディア集中排除の原則を確実に実現できます。

